

12/11
(日)

人権について考える

令和4年度松浦市人権啓発映画上映会



上映会に先立ち、第41回全国中学生人権作文コンテスト長崎県平戸地区大会で入選した中学生による作文発表があり、御厨中学校3年の松田莉々沙さんが「髪の毛に込めた願い」と題し、自身の髪を医療用ウィッグの素材として寄附するヘアドネーションを通して、病気などで髪を失った子どもたちが笑顔で過ごすことが出来ればと思いを語りました。

その後、映画「ねずみくんの気持ち」と「すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」を上映し、人権について考える一日となりました。

12/10
(土)

おいしいお米で親子クッキング

さまざまな具材を挟んだ「おにぎらず」



親子で食事づくりを楽しむイベント「親子ふれあい講習会」が開催されました。

イベントには、市内の有志の方々から「子どもたちの健やかな成長のために役立ててほしい」とお米（約516kg）が寄贈されました。

いただいたお米は、ひとり親家庭などにも配布を行い、沢山の方に喜んでもらえる機会になりました。

今後同様の寄贈があった場合は、子どもの居場所づくりなどへ活用されます。

12/14
(水)

地元のお茶で風邪予防

JANAがさき西海茶業部会 松浦地区部会（井手眞悟部会長）



ほしか保育園でうがい用の緑茶の贈呈式が行われました。

同部会は、市内の小中学校や保育園などうがい茶を毎年配布しており、松浦茶を使ったうがいの実践を呼びかけています。

当日は部会長が作り方や効能を説明し、きりん組12人のうち代表3人がお茶うがいを実践。最後はきりん組全員で「お茶うがいで風邪をひかないように頑張ります！」と感謝の言葉を伝えました。

12/11
(日)

お仕事、魅力が大集合

第5回松浦子ども博



松浦の仕事などさまざまな魅力を子どもたちに楽しく知ってもらいたいと松浦商工会議所青年部（鬼橋良紀会長）が企画し、今年で5回目を迎えます。

文化会館では、松浦で働く海外研修生やALTの先生が料理を振舞う国際的屋台まつりや、市内企業による職業体験、おえかき水族館、松高生によるカフェなどが開かれ、子どもから大人まで約2,500人の来場者で賑わいました。

12/27
(火)

願いを込めた門松を寄贈 公益社団法人松浦市シルバー人材センター



同団体は、市民への感謝の気持ちを表したいと市役所北側の入口に一对の門松を寄贈しました。高さ約 1.7 ㍎、人が笑っているかのように切られた竹や、松、南天、葉ばたんなどで華々しく飾られた門松は、30 人以上の会員らが協力し素材の収集、飾りの作成、装飾、設置を行いました。

村田理事長は「来年こそは、従来の生活に戻るようにとセンター会員が願いを込めて作りました」と話し、市長へ寄贈札を手渡しました。

12/16
(金)

地元の牛乳でピザを手作り 松浦青年農業者会（崎村優也会長）



同会は、農業青年プロジェクト活動として、子どもたちに「食」や「農業」へ関心を持ってほしいと、上志佐小学校の 5 年生 10 人へ食育活動を行いました。

子どもたちは、当日の朝に搾乳された牛乳を使い、牛乳プリンやバター、チーズ作りを体験。このチーズと好きな食材でピザを作り、同会が作った石窯で焼いて食べました。

子どもたちは「チーズやプリンを初めて作って楽しかった」「友達と一緒に作ったピザは一段と美味しかった」と嬉しそうに話しました。

まちの話題

1/6
(金)

いい年祈る、もぐら打ち 星鹿地区「もぐら打ち」



今年一年の家内安全や無病息災などを祈願する伝統行事「もぐら打ち」が行われました。

星鹿地区では、地区の小学生 10 人と保護者らが集まり、約 100 戸の家々を 2 班に分かれてまわりました。子どもたちは「祝いましょう、祝いましょう、祝いのもちをくれたなら、祝うてどっさり福の神・・・」と地域ごとに異なる囃子詞こたばを大きな声で唱えながら、新わらで作った約 80 ㍎の棒で玄関の床をリズムよくたたきました。

1/6
(金)

第一声、響き渡る 令和 5 年 松浦魚市場初競り



日本有数の水揚げ量を誇る松浦魚市場で、今年初めての取引となる初競りが行われました。

この日は、小型旋網で獲れたサバやアジ、カマスなどを中心に 72 ㍎が水揚げ。午前 5 時に一番競りが開始されると、競り人の威勢のいい掛け声とともに次々と魚が競り落とされていきました。

その後、開催された仕事始め式では、市場関係者が集まり、操業の安全や大漁、商売繁盛が祈願されました。